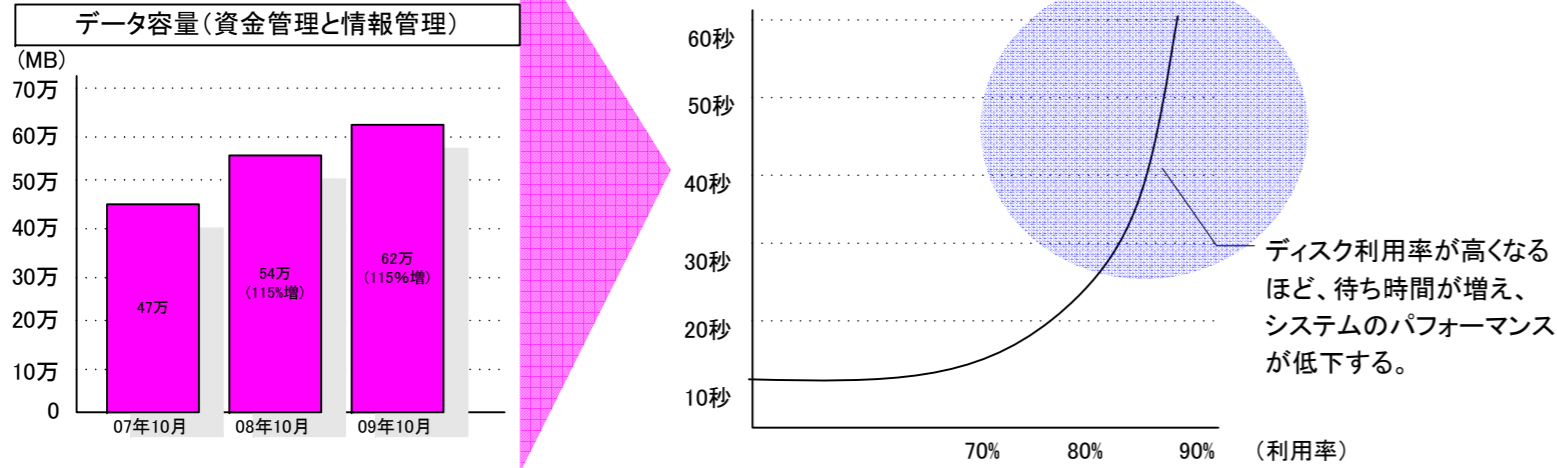


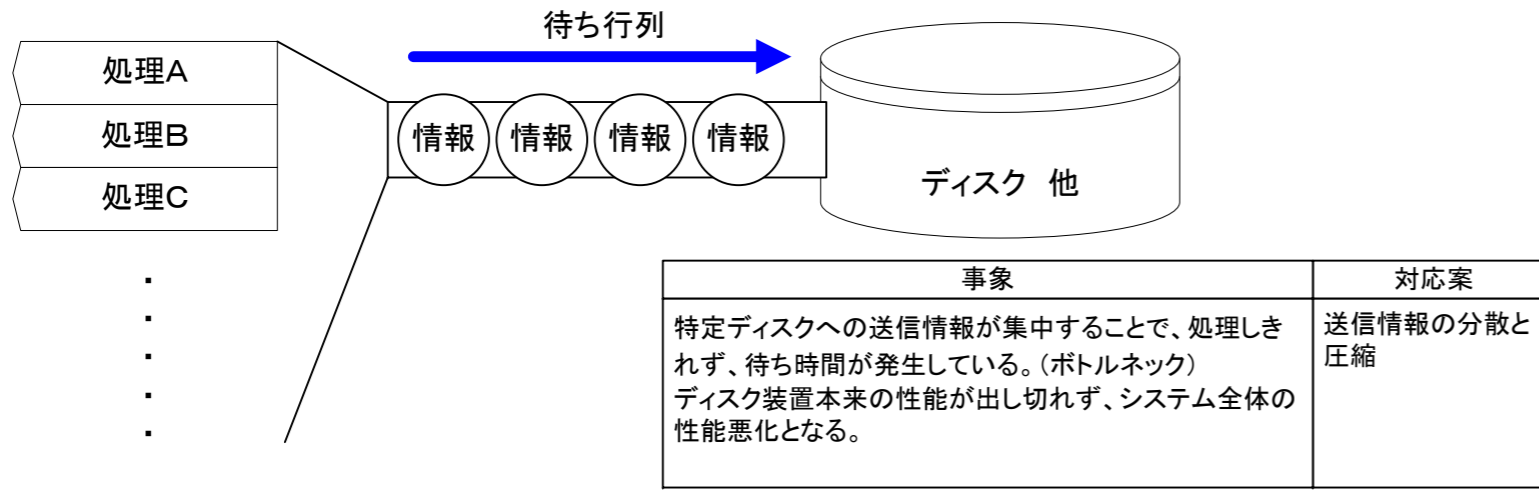
1. 原因

(1) データ増加

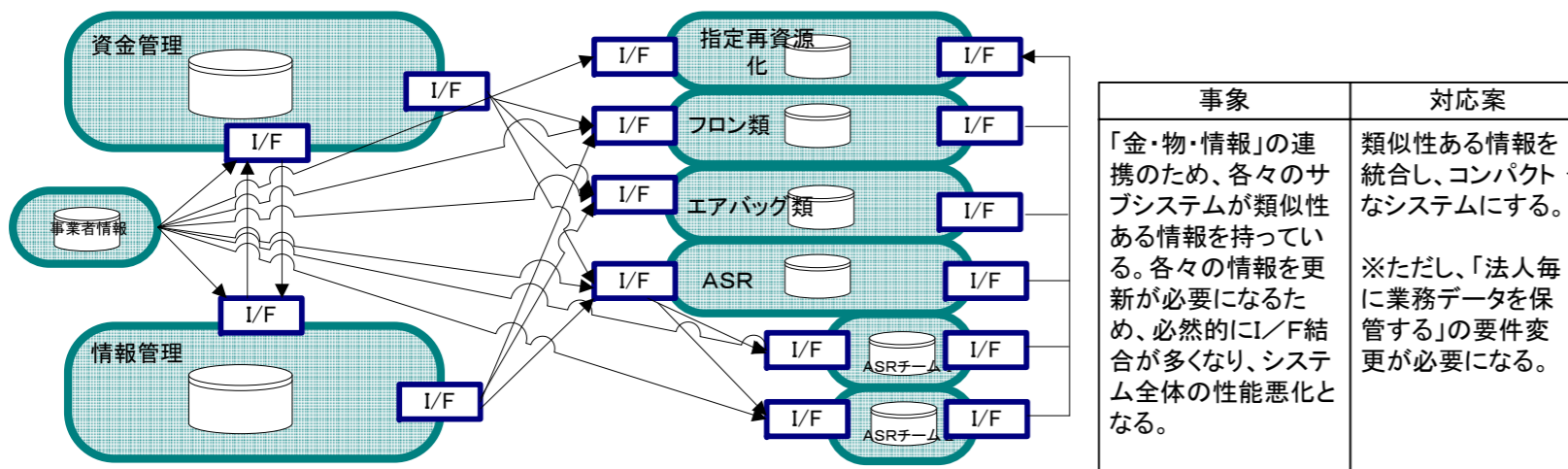


事象	対応案
情報システムに蓄積された情報を削除していないため、データ容量は増加する。 ・約480万台/年の新車が発生し、特定再資源化物品等の料金情報が純増。 ・約2,400万件/年の移動報告が行われ、工程別の特定再資源化物品の移動報告情報が純増。 このため、データ容量が増加することで、ディスク装置本来の性能が出し切れず、システム全体の性能悪化となる。	データ圧縮

(2) トラフィック(送信情報)の集中による負荷

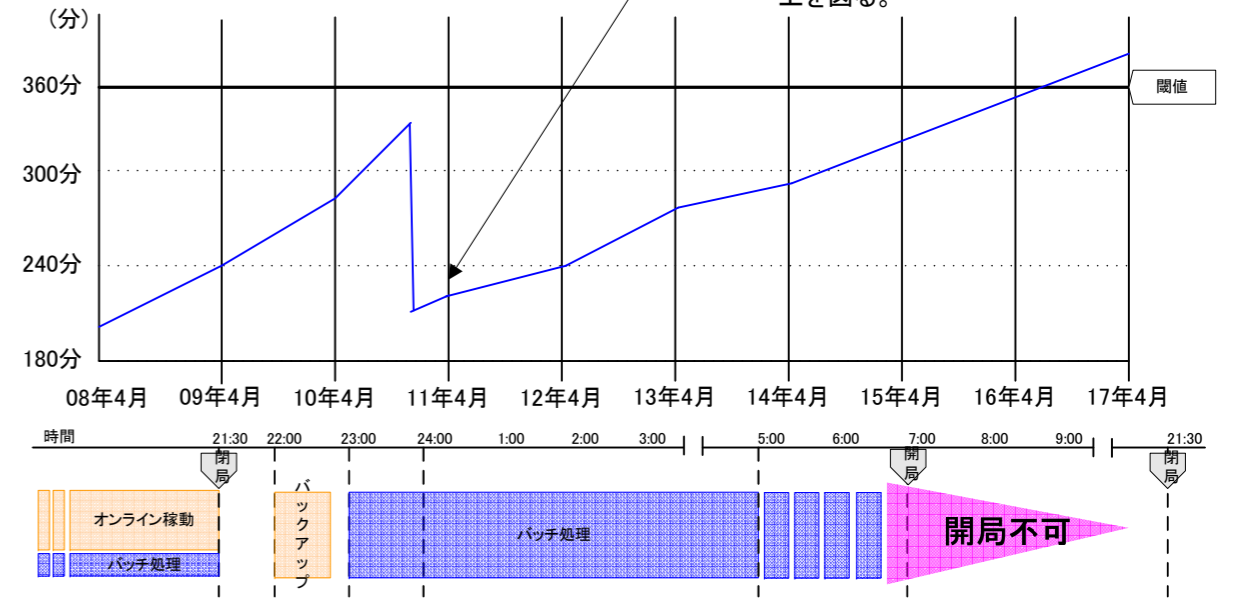


(3) インターフェース負荷



2. 性能状況

(1) バッチ性能
〔性能実績と予測〕

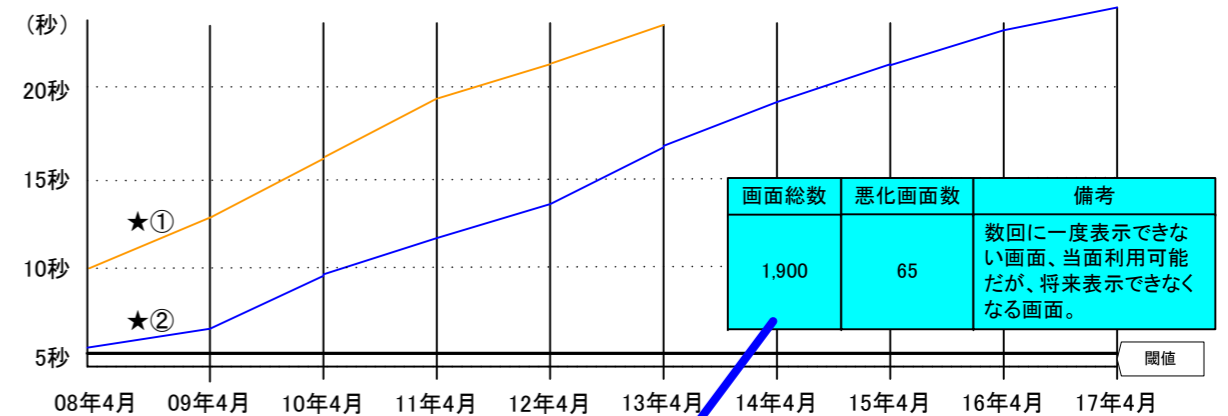


事象	影響
各々の処理が長くなり、規定の6時間以内に処理が終わらない場合は、リサイクルシステムの稼働ができなくなる。	リサイクルシステムが開局できないことで、次の影響が予想される。 ○自動車ユーザーが、リサイクル料金の預託証明が受けられず、運輸支局等から車検証の交付が受けられない。 ○中古車売買時、リサイクル料金の預託の確認が行えず、リサイクル料金の受渡しができない。 ○自動車ユーザーは使用済自動車の引き渡しができない。 ○自動車ユーザーは解体通知を受け取れない。 ○自動車ユーザーは重量税還付を受けられない。 他

(2) オンライン性能

〔パフォーマンスレベル(SQL実行値)〕

実行時間が長いSQL(5秒以上)を対象に、オンライン処理の伸びを予測した。
⇒SQL実行値が5秒以上である場合、性能基準30秒以内を満たさない恐れがある。(パフォーマンス調査の一手法)



(一例)

機能名	利用者	性能基準※	性能(現状)	影響
★① 預託申請機能	資金管理法	30秒	たまに60秒以上	・リサイクル料金の支払いができないため預託証明が行えず、車検証の交付が受けられない。
★② 移動報告機能	引取業者			・最終所有者から廃車の引き取りができない。 ・最終所有者は重量税還付が受けられない。 ・仕掛かり中の解体処理の移動報告が行えない。

※エンドユーザーのパソコンに画面表示ができるまでの時間